

# 染色の手順

[記載は染料1リットル分の場合の材料] ※研修室の体験では、10人分の染料を作ります。



## 1. 染料づくり

乾燥させた狭山茶の茶葉とセスキを鍋へ入れ、75°Cのお湯を流し込みます。約20分間ぐつぐつと、お茶の葉の色素を煮出します。煮出し中は、ほうじ茶を甘くしたような良い香りがします。煮終えたら布等で濾して45度くらいまで冷めます。

### [材料]

- 秋口に刈り取った、茶葉  
.... 約30g
- セスキ\*  
.... 約2g
- お湯  
.... 約1.1リットル

\*セスキ：水に溶かすと油汚れの掃除に使える、「セスキ炭酸ソーダ」のことです。

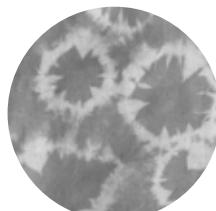


## 2. 染めたいものの準備

染料を冷ましている間に、染めたい素材を準備します。ビー玉・ヒモ・輪ゴムなどで、しばりたりくつたりして模様をデザインします。ギュッと圧がかかるつた部分は染料が届きにくいため、素材そのものの色味が残ります。

### [材料]

- 染めたい布素材  
.... 適宜
- ビー玉やヒモ、輪ゴムなど  
.... 適宜



きつとくつとくつ  
ゆるく結ぶとふんわりと  
模様が出ます。

好きなものを使って  
自由にデザインしてみてね！

ビー玉と輪ゴムを使うと  
こんな感じで染まるよ。

### 牛乳でできる、かんたんカチオン化



綿や麻は「植物性繊維」で、緑茶の染料が付きにくいため、カチオン化しておく事がおすすめです。

蛍光増白剤や柔軟剤が入っていない中性洗剤で、染めたい素材を洗って良くなじませて干した後、牛乳を10倍にうすめた液に、1時間ほどひたします。

ひたしあえたらすすぐすに軽くしぼって乾かします。

これで、素材の表面がカチオン化され、染まりやすくなります。

※綿やウールなどの「動物性繊維」はカチオン化しなくても比較的染まりやすいです。



## 3. 染色

手に色が付いたり荒れたりしてしまわないように、ビニール手袋かゴム手袋をしましょう。(こちらで準備いたします)

染めたい素材を染料につけこみます。染料が行き渡るように、素材全体を軽くもみます。1~2分つけこんだらしぶらすに、今度はミョウバン液に1分ほどひたします。その後、またしぶらすに、染料へ1~2分つけこみ、最後に輪ゴム等を取り、ぬるま湯ですすぎます。

### [材料]

- 作った染料  
.... 約1リットル
- ミョウバン  
.... 約5g
- ミョウバン液用のお湯(ぬるま湯)  
.... 約1リットル
- すぐ時用のお湯(ぬるま湯)  
.... 約3リットル

※ミョウバンはお湯に溶かしておきます。



染料に1~2分



ミョウバン液に1分



染料に1~2分



輪ゴムやヒモ等をはずしながら、  
すすいでしぼります。  
綺麗にアイロンをかけて完成！

長めにつけると濃くなるよ  
ゆっくり動かしたり、  
軽くもむとムラなく染まるよ

ミョウバン液で「色止め」をするよ  
この作業で、  
洗っても色落ちしにくくなるんだ

※染めてから数回は色落ちする可能性がございます。他の洗濯物と分けて洗いましょう。